

# 秋空に響いた歓声

## 竜丘市民運動会



熱い声援を浴びて

十月十日の体育の日、例年ならば、晴れた青空の下で、ですが、今年は重苦しい雲の下で運動会の幕開けとなりました。

運動会を地区内に告げる聖火リレーは、早朝七時に上川路の八幡社をスタートして、地区内を一巡し、開会式で聖火台に点火されました。

選手宣誓では、同時期に開催していた「広島アジア大会に負けないようにがんばります。」との力強い声が聞かれました。

競技は準備体操で始まり、全員でラジオ体操を行ない体をほぐしました。モデルリレーは、麻袋でスタートして、タイヤ引きでゴールする合計十一の種目を総勢二十九名でタスキを受け継ぐ大レースの一つです。序盤が早くても、

体育の日恒例の竜丘地区市民運動会が行われました。今年朝から曇り、昼食時には一時雨に降られました。地区民の歓声に雨もやみ、予定通り全種目行なうことができました。優勝旗は時又が二年連続で持ち帰りました。



力を合わせて

満水リレーで、早く水が一杯になった分館ほど優位にゴールしました。

運動会の種目の一つで、思わず応援も力が入ってしまったものといったら、やはり綱引き。全分館総当りで、三十秒間に勝負を決める一本勝負です。力の差がなかったのか、時間が短かったのか、引き分けが続きました。

午前中の最後のレースは、男女別の年次リレーです。分館役員の方は、特に選手委嘱がたいへんだったと思われまふ。依頼に行っても「リレーだけは勘弁して。」といったケースが多かった様ですが、出場した選手の方は、精鋭揃いで、白熱したレースでした。

この後昼食となりました。この時ばかりは、勝敗の事を忘れ、あちらこちらで団らんが見られました。青少年クラブが日頃の成果を発表していた時、朝から心配していた雨が落ちだしました。お弁当を広げていた時、テント下に逃げ込んだりと、大慌てでした。

お騒がせの雨も上がりま



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,589人  
男子 3,230人  
女子 3,359人  
世帯数 1,912戸  
(6年10月末現在)

### 健康財団表彰を受けて

#### 竜丘歩こう会

九月二十八日に、長野市住友生命ビルにおいて、竜丘歩こう会(会長 原田忠治さん)が健康財団賞の表彰を受けました。

この賞は、住友生命の外部の団体、全国の健康財団を引っ張り、健康増進に励

今年度、竜丘地区女性と、親睦を深めたり、学習団体連絡協議会、略して「女連協」の総会が七月五日に開催され、農協婦人部、婦人会、日赤奉仕団、青年会、生活改善グループ、消費者の会、合わせて六団体の参加のもと、竜丘の女性たちが集い、その活動がスタートした。

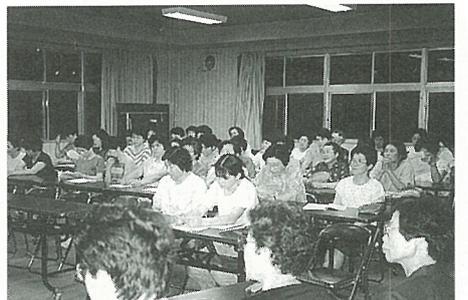
女連協の目的は、各団体相互の親睦を深めたり、刺し合い、女性組織の活性化という所であり、女連協の活動は各団体の共通の目的であるものを考える中で、発足以来続けている牛乳パックの回収

### 話し合う」事を大切に

#### 女性団体連絡協議会

「話し合う」事は、簡単そうで、実はちょっと難しい。なかなか思うようにならない。でも話し合う事が、人の気持ちに大きく左右する要素が沢山有り、

今年度、会長の長野原の



「女連協」総会



記念品の黄色いジャケットと

現在竜丘歩こう会の会員は約七十名で活動しています。毎日歩くことを自分の日課にして、月に一回例会を行います。楽しく歩いて地域を知り、新たな発見をするという目標をもっているようです。又、全国各地で行われる「やまびこマーチ」というのにも十名位の参加があるという事です。

住友生命健康財団で発行されている「生きる」という本に、竜丘歩こう会が今紹介されるそうです。

この表彰で記念品としてライトジャケットを三十着



小林 正さん 中田美穂さん 木下 一さん

「熊さん、朝晩めっきり寒くなつたが、どうだい調子は?」「おう八つっあんはいるか振りじゃねえか。天気がいいもんだから孫連れて文化祭へ行つて来たよ。」「お前さんも行って来たかい。俺もカアちゃんとお出かけたが、結構な人出だったに。毎年のことだからどどのグループの発表も良く勉強できとって感心なもんだな。」「そうよ八つっあん。八民館じゃ地区民一人ひとりが心豊かに生きるための生涯学習ちゅうやつを皆にすすめてるでな。ワシらも地域文化に関わる学習を始め、文化祭で発表できりゃあ、たいしたもんだがな。」「ところで熊さん、帰りに紅葉でもと回り道して白井原の方へ寄つてみたんだけどな。あの伊賀良にもまたがる広い土地は、工業団地になると聞いて久しいな。」「そつだなあ、景気の回復も今一つだし、なかなか話が進まんのかな?」「飯田市全体を見回しても、市民が憩える本格的な「公園」というのが無いと思つて、そつちや八つっあん、工場誘致や雇用の確保もいけれど、住み良い環境という点からすれば、あつたらいいと思つた。」「熊さん、そんなのができりゃ、俺ア毎日でも行つちまうに。」「何にしても、相談のし過ぎではないで、じっくり話合つてほしいもんだな。」「竜丘にはほかに、解決しなくちゃならん、大きな課題がいくつもあるに。」「うん、そうなん八つっあん、竜丘に住んでるワシらこそが、もつと地域に目を向けて孫達が幸せに暮せる竜丘へと検討を重ねにやな。」

### 公民館表彰

此程、上水内郡信濃町で開催された長野県公民館大会で、公民館活動推進功労者の表彰が行なわれた。

竜丘関係では竜丘公民館長、運営審議会委員長を長期にわたりつとめた木下一さん(駄科)。同じく公民館長と運営審議会副委員長として多大なる貢献をされた中田美穂さん(桐林)。広報委員として長年にわたる地域の広報活動に尽力された小林正さん(長野原)の三名が表彰されました。



「熊さん、朝晩めっきり寒くなつたが、どうだい調子は?」「おう八つっあんはいるか振りじゃねえか。天気がいいもんだから孫連れて文化祭へ行つて来たよ。」「お前さんも行って来たかい。俺もカアちゃんとお出かけたが、結構な人出だったに。毎年のことだからどどのグループの発表も良く勉強できとって感心なもんだな。」「そうよ八つっあん。八民館じゃ地区民一人ひとりが心豊かに生きるための生涯学習ちゅうやつを皆にすすめてるでな。ワシらも地域文化に関わる学習を始め、文化祭で発表できりゃあ、たいしたもんだがな。」「ところで熊さん、帰りに紅葉でもと回り道して白井原の方へ寄つてみたんだけどな。あの伊賀良にもまたがる広い土地は、工業団地になると聞いて久しいな。」「そつだなあ、景気の回復も今一つだし、なかなか話が進まんのかな?」「飯田市全体を見回しても、市民が憩える本格的な「公園」というのが無いと思つて、そつちや八つっあん、工場誘致や雇用の確保もいけれど、住み良い環境という点からすれば、あつたらいいと思つた。」「熊さん、そんなのができりゃ、俺ア毎日でも行つちまうに。」「何にしても、相談のし過ぎではないで、じっくり話合つてほしいもんだな。」「竜丘にはほかに、解決しなくちゃならん、大きな課題がいくつもあるに。」「うん、そうなん八つっあん、竜丘に住んでるワシらこそが、もつと地域に目を向けて孫達が幸せに暮せる竜丘へと検討を重ねにやな。」

# いつまでもお達者で 竜丘地区敬老会

秋と言っても、夏の様に暑い九月十五日に竜丘地区敬老会が行なわれました。当日は地区内より百八十名余りの該当者の参加で始まり、今年も、記念行事で講演会が行われ、地域芸能発表では駄科の鈴岡太鼓などの好演が行なわれました。

今年も七十五才以上を該当にした敬老会が行なわれました。当日は社会福祉協議会竜丘分会の方を中心として、竜丘公民館役員が共催するという形で敬老会が始まりました。



芸能発表に拍手喝采

始めに主催者のあいさつがあった後、小学校の生徒による、「おじいさんやおばあさんに関する作文の朗読」が行なわれました。

その後、今年八十才になる方々に記念品として開善寺の住職さんの書いた色紙が贈られました。その後、休憩をはさんで、市立病院の副院長の藤森直春先生による、「現代養生訓」(ボケず寝たきりにならない)

して作文の朗読が行なわれると会場からは拍手が起りました。

各地区の民謡クラブの発表では、勇ましい立ち回りや艶やかな踊りで会場の参加者を和ませていました。

ボケ(痴呆)は現在、社会問題となりつつあり、早い人は五十才代から始まる人もいると言ふ事で、講演では痴呆の概要と予防する方法についてわかりやすく話しをして頂きました。

## 新たな触れ合いの場 万寿山マレットゴルフ場オープン

今度、十一月二十三日に

桐林の万寿山にマレットゴルフ場がオープンします。マレットゴルフとは、ゲートボールと同じスティックとボールを使い十八ホールのコースを、どれだけ少ない打数で廻るかを競い合うスポーツで、子供からお年寄りまでだれでも気軽に楽しめる、地区でクラブがあるなど盛んになっています。

ゴルフ場は、地域の住民の触れ合いの場所として四年位前に、桐林区会の中で建設の話が持ち上がり建設委員会を発足させ、竜丘地区自治協議会の協力を得て、造られて来ました。場所は色々と案が出ましたが、桜で有名で風光明媚な万寿山に決まりました。建設費は桐林区と市との補助金で賄われています。

コースは市の教育委員会体育課が主体となり設計され、十一月二十三日にオープンしました。コース距離は全長五百三十六メートル、十八ホール、パー七十二、一番長いホールは四十六メートル、短いホールは十二メートルで傾斜を利用し起伏に富んでいます。アウトボールにならない様フェンスを設け、芝は来春に種をま

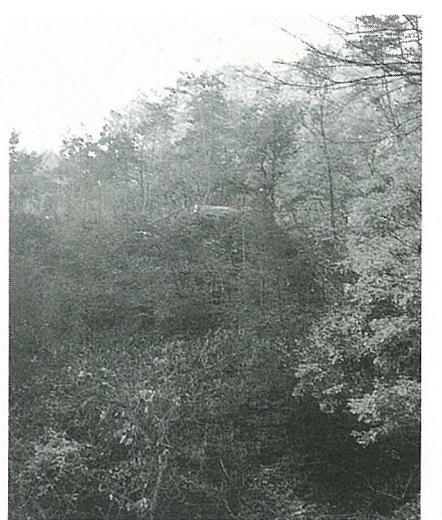


オープン間近!!

## 竜丘で採れた秋の味覚 上川路松茸山

秋の味覚松茸。竜丘でも松茸を取れる数少ない場所の一つに、上川路地区にある、通称「上川路松茸山」があるのをご存知ですか。

松茸山は、シーズン前の入札により権利を買い、入札山と、券を買えば誰でも入ることができ、入山券山に分けられていて、九月十一日から十一月十五日迄の間が止め山となります。入山券は、上川路地区民以外の方でも、シーズン券四十円、一日券五百円となっております。上川路壮年会の役員、ドライバー開善路な



どで販売されています。ここ数年、松くい虫の被害がひどくなり、赤松の本数が減るとともに、松茸の収穫量も落ちてきています。その対策として、ナメタケ、クリタケといったキノコの菌糸を植えつけることで、松茸以外の雑キノコの収穫を満杯にできるかも?

## 備えよう 火災シーズンと

今年の夏は異常な猛暑にみまわれ、残暑もとても厳しかったせい、遅い秋の訪れと共に朝晩の冷え込みが厳しく感じられます。そのような中でどちらのお宅にも暖房器具が登場しているよ、火災の発生しやすいういシーズンを迎えます。この時期、火災予防週間などを通じて防火活動の呼びかけがなされますが、さして皆さんそれぞれ火災についてどのような認識をお持ちでしょうか。

まず一番怖いのは家族、ご近所の生命を脅かす事です。火の廻りというのは思いの他早いものです。また、大切な財産である家屋や家財を瞬時に失ってしまうこともあります。このような火災は出さないのが一番です。そのためにも予防防火に心がける事が大切です。

また、てんぷら鍋の掛け忘れにも気をつけましょう。鍋から離れるときはコンロの火を消しましょう。それから竜丘地区内で二件の不審火が発生していますので、家の廻りに可燃物を置かないようにして下さい。

たまには家族の中で防火について話し合ってみて下さい。またご近所どうし声を掛けてみて下さい。

## 「女性のためのふるさと講座」 開講される

文化委員長 中島 武津雄

かつて女性のコミュニケーションの場は、水を共有する「井戸端」でした。洗濯場の小川や、清水や、水汲み場で、作物のでき具合、子供の事、姑様のこと、何でも話題になり、足りないところを補いながら、日々の生活を営んでまいりました。

薄くなってきているように感じています。このような時代背景の中で、母親の皆さんは、他の地区から竜丘にお嫁さんになった方々がほとんどで、あたり前のことですが、念される訳です。

しかしながら昭和三十年代の後半からは、工業化社会、高度成長化の中で、社会環境の変化、生活環境の多様化により、個人個人がそれぞれ異なる価値観を家庭生活や暮らしの中で、持つようになってきた結果、残念ながら地域の中の連帯感や、補完し合う心、伝承していきこうという心、が希

が、竜丘の歴史や風土、生活立等々は、知識として持っている訳です。さらに核家族化が進む中で、本来伝承する役割を担ってきた老人たちが、家族の構成員に

文化委員長 中島 武津雄  
ここ竜丘で生まれ、育った子供たちに、故郷への愛着心を持って頂きたい。竜丘への愛着心を養って頂きたい。そのためにまず、子供にとって一番身近なお母さ